資料７

意見交換会等フォーマット

どんぐり会意見交換会

■開催年月日：　令和６年１月１７日（水）
■開催場所：　役場３階議会控コーナー
■出席議員：中村委員長・中田・伊藤・小笠原・堀切・立川・早苗・鈴木
■参加者：　森会長・竹内研修部長・浅見副会長・田中副会長・小林さん・柴田さん・田口さん・山崎さん親子・山中さん・高橋さん　（合計：１１　人）
■記録者名：　中田

ｶﾃｺﾞﾘ	テーマ	意見交換内容
健康	予防接種	障がいを持つ人たちの老化のスピードは、健常者に比べて早いことを実感する。健康寿命を維持するための支援や補助の充実が必要。運動教室も必要。 （対応）意見として聞き、委員会に報告
	相談窓口	本人も気軽に健康のことなど相談できる窓口の開設 （対応）計画を踏まえて強化したい
暮らし	福祉避難所	現状の福祉施設では希望する人数は収容できない。地域の理解不足。たらい回しのリスクが高い。対応できる職員も必要。 （対応）町に対し一般質問等を通し質していく
	入居施設	安心して暮らしていくために事業者、NPO 法人など招致を積極的に進めてほしい。緊急時対応のショートステイ。障がい者専用の高齢者施設が必要。 （対応）既存の施設を活用しつつ計画をもってすすめる
	介護人材	町や関連機関と連携して PR 活動や、高校や専門学校への訪問など、就業と居住がしやすい町であることを PR し人材を確保してほしい。 （対応）意見として聞き、委員会に報告
	窓口デジタル化	現況届等、役場などへの提出書類の簡略化、枚数の削減など負担軽減。 （対応）計画を踏まえて取り組む
	住民理解	創設 50 年となり、どんぐり会としての活動や組織があることを知ってもらいたい。 （対応）広報等で周知していく
仕事	就労支援	施設での就業実習者への今以上の支援や、一般就労されている障がい者へのサポート、就労斡旋の支援体制の充実。 転職や退職時の新たな職探し、仕事への適応力の確認を今まで以上に支援してほしい。 学校から就職までのつなぎとなるスムーズな連携が必要。 （対応）計画を踏まえて強化したい

	移動手段の確保	居宅と会社、商業施設と居宅などの移動手段の確保。バスの減便の影響がある。通勤サポートをしてくれる事業者への支援。 （対応）委員会で調査する方向で検討